

令和3年度第2回光市教育振興基本計画策定懇話会 会議録

1 開催日時

令和3年10月14日（木）15時30分～17時10分

2 開催場所

光市教育委員会1階ホール

3 出席者

(1) 構成員

光市教育開発研究所	主任研究員	村上 博（副会長）
光井小学校	校長	温品 賢二
大和中学校	校長	河本 政之
聖光幼稚園	園長	岡田 留美子
室積小学校学校運営協議会	委員	仲子 貴美子
浅江中学校学校運営協議会	委員	岡崎 英子（会長）
光市小中学校PTA連合会	副会長	藤本 晋治
光文化協会	会長	南 秀男
光市食生活改善推進協議会	副会長	田村 定子
公募委員		三崎 芳江

※欠席の委員

光市スポーツ推進委員協議会 会長	西山 満雄
公募委員	河内 由美子

(2) 事務局

伊藤教育長、芳岡教育部長、升教育総務課長、久岡教育総務課経理係長、桑原経理係職員

(3) 関係者

ア 教育委員会事務局

原田学校教育課長、塩田学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、前田図書館長、永光教育企画担当（学校教育課）

イ 市民部

高橋地域づくり推進課長

ウ 福祉保健部

田中福祉保健部健康政策担当次長兼健康増進課長、西村子ども家庭課長、

4 次 第

開 会

(1) 教育長あいさつ

(2) 議事

第2次光市教育振興基本計画（骨子案）について

(3) その他

閉 会

5 議事録（要旨）

開 会

(1) 教育長あいさつ

皆様、改めましてこんにちは。日中は、30℃を超える日がついこの間までつづいておりましたけれども、この暑さも少し和らいで、ようやく秋を感じられるようになりました。

市内の公立小中学校は、小学校4校を残して、既に運動会、体育祭を終えておりまして、私も少し回らせていただきましたが、今年もやはり、コロナ禍で様々な制約の中でありましたが、そうした中でも子どもたちは、自分たちの最高の行事にするのだという熱い思いや、意気込みを持って生き活きと活動しておりました。そうした姿を見て、私自身も胸が熱くなったというところであります。

さて、本日は第2回の懇話会ではありますが、皆様方には、ご多用の中、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

前回、7月8日の第1回会議では、教育振興基本計画策定にあたっての法的根拠や第2次光市教育振興基本計画の骨組みを、第2次光市教育大綱（案）との関係も含めてご説明させていただきました。

本日の会議では、前回お示しした第2次光市教育振興基本計画の骨組みに、令和4年度からの具体的な取組内容などを肉付けした現時点での計画案をお示しさせていただいております。

この計画案は、現在同時進行で策定を進めております、第3次光市総合計画や第2次光市教育大綱との整合を図りながら、連携と協働をキーワードとした教育理念に基づき、未来を

担う子どもたちが、変化の激しい未来社会を生きる力を確実に身に付けていくことを目指して、あるいは、幅広い年代の人々が、それぞれ長い人生を生き生きと暮らすために、生涯にわたる学びや体力づくりを実現できる環境を目指して、本市の教育が担うべき令和4年度からの取組を整理し、関係部局とも連携して協議を重ねたうえで取り纏めたものでございます。

後ほど、中身のご説明をさせていただきますが、委員の皆様方に置かれましては、幅広い視点から、この計画案に対するご感想やご意見をいただければと思います。

この計画が、光市の子ども達をはじめ、全ての世代の皆様にとりましても、本市に相応しい「光市教育振興基本計画」になりますよう祈念し、私からのごあいさつとさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

(2) 議 題

第2次光市教育振興基本計画（案）について

ア 説 明

事務局より資料に基づいて説明。

イ 質疑等

【委 員】

69ページの具体的施策4-8、主な取組「中学校部活動のありかたについての調査研究」について、土曜日、日曜日の中学校部活動は、現在では休みの日を設定していると思いますが、今後、光市においては、全部ではなくても、地域での課外活動という形でスポーツに取り組む方向にシフトして、先生方の負担を軽減していくという考え方でしょうか。

→【関係者（教育委員会事務局）】

中学校の部活動について、文部科学省から令和5年度から地域への段階的な移行という方向性が示されたことから、山口県でもその検証、研究を行っています。現在、県内で実証研究校が2校ございますが、その動向を注視しているところです。様々な利点や課題があると聞いておりますが、それらを基に、本市の方向性を検討したいと考えております。

【委 員】

8ページの②ICTを活用した新たな学びについて、光市では全ての児童生徒にタブレット端末が配付され、これから、何かあった時には持ち帰りもできるようになるとも聞いてい

ます。他県では、チャットの機能を使ったいじめもあったかと思いますが、光市が導入したタブレットにはチャットの機能があるのか、また、パスワードの管理はどのようになっていますか。

→【関係者（教育委員会事務局）】

64ページの主な取組「教育情報セキュリティの確保」として新たに項目を加えています。配付したタブレットによるいじめなどが社会問題化しておりますが、持ち帰りをした場合にも学校でもそのようなケースが考えられます。光市の端末では、教育委員会で端末をコントロールできるMDM（モバイルデバイス管理）によりチャットはできないように設定しています。パスワードについては、発達段階に応じて異なりますが、1つのパスワードではなく何段階かのパスワードを設定し、なりすましが無いような形で進めています。

【委員】

子育てをしている立場からですが、保育園や幼稚園と比べると、学校と家庭とのつながりがどうしても薄いような気がします。どうしても学校に自分から行くことがありませんし、行事に親子で参加することもあまり機会がありませんので、家庭は家庭、学校は学校と感じてしまいます。

計画（案）の説明を聞いて、学校・家庭・地域がみんな揃って子どもたちを育てていこうという印象を受けましたので、是非、学校の行事や地域の活動に、親だけが参加する講演会や、子どもだけが参加する行事ではなく、親子で参加するものを盛り込んでいただきたいと感じました。

また、何度か講演会などに参加させていただいていますが、11ページにあるような課題への対応といった、毎回同じような内容で代り映えしないものになっていると感じることがあります。課題への対応だけでなく、様々な面から真新しい情報が得られるようにしていただきたいと思います。

他の保護者と話をする際によくありますが、理想は分かっているが、どうすればいいのかといった、実際にやってみたいけれども、家庭環境の都合でどうしても出来ないという声も聴いています。是非、こういったところからのアプローチによる解決策も知る機会があれば、例えば読書の習慣や朝ごはんを食べるだとか、少しずつ割合があがってくると思います。

【委員】

幼児教育・保育環境の充実について見させていただきました。第2次の計画になって多様なニーズに対する保育事業ということが入っています。それに加えて、特別な対応が必要

な家庭への支援というところに、きめ細かな保育の提供が更に入っていましたので、今の時代にあった子ども子育て支援事業がとても充実したよいものになっていると感じました。

【委員】

65ページの具体的施策4-4「健やかな心と体を育む学校給食の充実」について、66ページに2つの指標がありますが、残食率についても給食センターで把握されていると思いますので、これも加えていただきたいと思います。

→ **【事務局】**

主な指標についてご提言をいただきました。主な指標については、記載している担当課で設定しております。いただいた指標のご提案をそのまま掲載できるかということについては、これに限らず、指標については各課で再度検討し、修正や追加を考えたと思います。

【委員】

指標の話が出たので、私からも1点よろしいでしょうか。35ページの特別支援教育の推進の主な指標に就学相談件数があり、近況値の33件に対し、目標が36件と増加しています。また、光っ子サポーターによる支援や光っ子コーディネーターによる訪問をそれぞれ増やすとなっていますが、一人ひとりを大切にすることや、個に応じた支援を行う際、数は減っても一人ひとりの子どもに対し、深い支援ができているとか、内容で見ればできているケースもあると思います。目標の件数を高く設定してしまうと、その数字に捉われてしまうことも考えられますので、全体の指標を見直す際の検討材料の一つとしていただきたいと思います。

【委員】

21、22ページのブランドと具体的施策の関係の表現はとてもいいアイデアと思います。また、PickUpも分かりやすくなったと思います。

ただ、指標について、設定されていないものもあれば、5つも設定されているものもあり、数のアンバランスを感じたので、全体を考慮して再検討をお願いします。

【委員】

教育理念の「連携と協働」がよく見えており、素晴らしいと感じました。

1点だけお願いですが、20ページの教育ブランド「幼児期から18歳までを見通した次世代型コミュニティ・スクールの進化」について、18歳、高校までを視野に入れてい

ますが、38ページの具体的施策2-1「次世代型コミュニティ・スクールの充実」では、“15歳までを見通した”となっており、高校が入っていません。

先日、高校との合同学校運営協議会を行いました。高校との連携はメリットが大きいので、一文でもよいので、高校との連携について記載があればと思います。

→【関係者（教育委員会事務局）】

高校との連携については、24ページの具体的施策1-1「コミュニティ・スクールの基盤とした小中一貫教育の推進」の主な取組に「幼保、小・中、高等学校の連携・協働教育の推進」に記載しておりますので、ご参考までに申し添えます。

(3) その他

ア 中間案の報告 12月市議会へ報告

イ パブリックコメント 12月中旬から1カ月程度

ウ 次回（第3回目）開催予定 令和4年1月下旬から2月上旬の間（後日連絡）

(4) 教育部長あいさつ

本日は、長時間に渡り、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

この度の計画策定にあたっては、単に期限を迎えます既存計画を引き継いで更新するだけでなく、それらを大切に引き継ぎながらも、1人1台端末を契機とするICTを活用した新たな学びや、小中一貫教育における教育効果を高めるため、施設一体型の小中一貫ひかり学園の具現化に着手すること、更に、学校における働き方改革の推進などの視点も盛り込んでおります。

これまで皆様からいただいた貴重なご意見は、私達に対するご期待の表れとして受け止めますとともに、この計画の中の具体的な取組等には表れておりませんが、我々教育委員会及び関係所管の意気込みも含まれているものと受け取っていただけたらと思います。

委員の皆様方におかれましては、そうしたところを見極め、次回の懇話会や策定後の事業進捗におきましても、引き続き忌憚のないご意見をいただければと思います。

本日は誠にありがとうございました。

17時10分終了